



## 水産研究、発想豊かに

県高 校 宮古水産が最優秀賞  
クラブ発表会

久慈 第59回県高 究会水産部会主催)は27日、  
校水産クラブ 久慈市門前の久慈東高(木  
研究発表会(県高校教育研 村克則校長、生徒557人)

最優秀賞に輝いた(左から)成ヶ沢翼さん、白土菜さん、菊地ひかるさん

で開かれ、地域のPRに向けた水産物の活用方法などの研究成果を発表した。

水産・海洋系学科がある同校、宮古水産高、高田高から3年生7グループが出場。テーマの独自性や社会貢献度、発表態度などを基準に審査された。

最優秀賞には「『宮古の真鱈』でにぎわいの創出2」と題して発表した宮古水産高食品家政科食品管理系の菊地ひかるさん、白土菜さん、成ヶ沢翼さんのグループが選ばれた。

白身で難しいとされるマダラの缶詰の商品化を目指した取り組みが評価され、3人は「マダライコール宮古のイメージを定着させた」と研究意欲を高めた。

同グループと、優秀賞に選ばれた久慈東高総合学科海洋科学系列、高田高海洋システム科食品科学コースの2グループは、10月26日に宮古市で開かれる東北大会に出場する。

岩手日報（2018（平成30）年9月28日（金））付  
この記事・写真等は岩手日報社の許諾を得て転載しています。